

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002111899 A**

(43) Date of publication of application: **12.04.02**

(51) Int. Cl.

H04M 11/00

H04Q 7/38

H04M 1/00

H04M 1/2745

H04M 1/725

(21) Application number: **2000303860**

(22) Date of filing: **03.10.00**

(71) Applicant: **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**

(72) Inventor: **YAMANE SATORU**

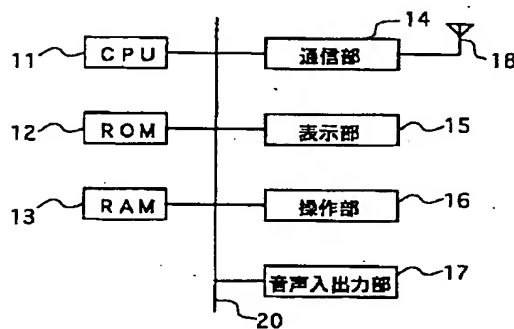
(54) **PORTABLE INFORMATION TERMINAL**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a portable information terminal which can easily backup data in a memory.

SOLUTION: A CPU 11 compiles telephone book data stored in a RAM 13 into the text file of a previously decided system. When the function key of an operating part 16 is depressed at the time of generating an electronic mail, the text file is attached to the electronic mail and the file is transmitted with the operation of electronic mail transmission.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-111899

(P2002-111899A)

(43)公開日 平成14年4月12日(2002.4.12)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ド*(参考)
H 0 4 M 11/00	3 0 2	H 0 4 M 11/00	3 0 2 5 K 0 2 7
H 0 4 Q 7/38		1/00	R 5 K 0 3 6
H 0 4 M 1/00		1/2745	5 K 0 6 7
1/2745		1/725	5 K 1 0 1
1/725		H 0 4 B 7/26	1 0 9 M
		審査請求 未請求 請求項の数3	O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2000-303860(P2000-303860)

(22)出願日 平成12年10月3日(2000.10.3)

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 山根 覚

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1

号 松下通信工業株式会社内

(74)代理人 100072604

弁理士 有我 軍一郎

Fターム(参考) 5K027 AA11 HH21 HH23 HH26

5K036 AA07 DD11 DD25 DD48

5K067 AA21 BB04 DD17 DD51 EE02

FF02 FF07 HH23 KK15

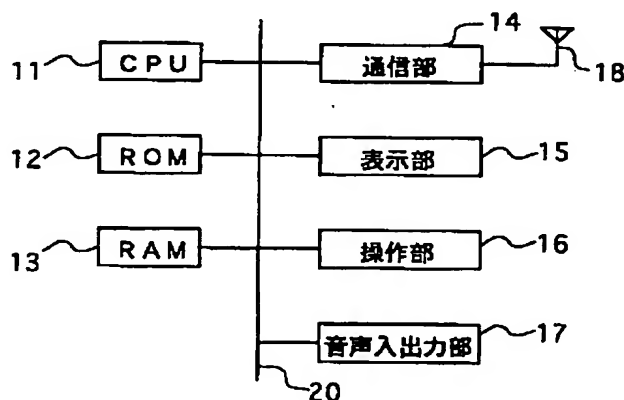
5K101 KK02 LL12 NN01 NN25

(54)【発明の名称】 携帯情報端末

(57)【要約】

【課題】 本発明は、携帯情報端末に関し、メモリ内のデータのバックアップを容易に行うことができる携帯情報端末を提供すること。

【解決手段】 CPU11は、RAM13内に記憶している電話帳データを予め決められた形式のテキストファイルに編集し、電子メール作成時に操作部16の機能キーが押下されると、このテキストファイルを添付ファイルとして電子メールに添付し、電子メール送信の操作により送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項１】 電子メール送受信機能を有する携帯情報端末において、メモリ内に蓄積している情報をテキストファイルに編集することを特徴とする携帯情報端末。

【請求項２】 前記テキストファイルを電子メールとして送信することを特徴とする請求項１に記載の携帯情報端末。

【請求項３】 受信した電子メールの添付ファイルの内容をメモリに取り込むことを特徴とする請求項１または２に記載の携帯情報端末。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】本発明は電子メール送受信機能を有する携帯情報端末に関するものである。

【０００２】

【従来の技術】近年、携帯情報端末としての携帯電話端末が普及してきており、その中に電子メールを送受信する機能を持ったものも出てきている。

【０００３】このような携帯電話端末では、そのメモリ内に電話帳として数百件の電話番号を登録することができ、また、電子メールの機能が付いているため電話番号とともに電子メールアドレスなども登録できるようになっている。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このような従来の携帯電話端末では、電話帳として登録した電話番号の一覧を簡単にバックアップする方法が無かったために、携帯電話端末の故障などでメモリの内容が消滅すると登録していた電話帳の数百件の電話番号が分からなくなってしまうという問題があった。

【０００５】本発明はこのような問題を解決するためになされたもので、メモリ内のデータのバックアップを容易に行うことができる携帯情報端末を提供するものである。

【０００６】

【課題を解決するための手段】本発明の携帯情報端末は、電子メール送受信機能を有する携帯情報端末において、メモリ内に蓄積している情報をテキストファイルに編集する構成を有している。この構成により、メモリ内に蓄積している情報がテキストファイルに編集されることとなる。

【０００７】ここで、前記テキストファイルを電子メールとして送信するようにしてもよい。これにより、メモリ内の情報を編集したテキストファイルが電子メールとして他の端末に送信される。

【０００８】さらに、受信した電子メールの添付ファイルの内容をメモリに取り込むようにしてもよい。これにより、他の端末で編集した内容をメモリに取り込むこととなる。

【０００９】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。図１～図２は本発明に係る携帯情報端末としての携帯電話端末の一実施形態を示す図である。

【００１０】図１に示すように、本実施形態の携帯電話端末は、ＣＰＵ（Central Processing Unit）１１、ＲＯＭ（Read-Only Memory）１２、ＲＡＭ（Random Access Memory）１３、通信部１４、表示部１５、操作部１６、音声入出力部１７がバス２０を介して接続されている。

【００１１】ＣＰＵ１１は、ＲＯＭ１２内に蓄積しているプログラムに従って、装置各部を制御して携帯電話端末の所定の動作を実行するものである。ＲＡＭ１３は、装置各部の駆動条件や管理データ等の各種情報を記憶するとともに動作する上で必要なデータを記憶するものである。

【００１２】通信部１４は、アンテナ１８で受けた電波を復調してＣＰＵ１１に出力するとともに、ＣＰＵ１１からの信号を変調してアンテナ１８から送信するものである。表示部１５は、液晶ディスプレイを有し、電話番号や受信電波の状態や電子メールの受信などを表示するものである。操作部１６は、テンキーや各種機能キーを備え、端末に対する各種操作を行うものである。音声入出力部１７は、スピーカおよびマイクを備え、音声の入出力を行うものである。

【００１３】このような携帯電話端末において、ＲＡＭ１３内には、電話帳としての名前、電話番号、電子メールアドレスなどのデータの一覧が検索・追加・削除・編集などが容易に行えるような独自のフォーマットで蓄積されていたり、送受信した電子メールの内容などが蓄積されており、ＣＰＵ１１は、操作部１６の機能キーの押下により電話帳に蓄積されている名前、電話番号、電子メールアドレスなどをテキストファイルに編集するようになっている。

【００１４】具体的には、ＣＰＵ１１は、操作部１６からテキストファイル編集の機能ボタンが押下された通知を受けると、電話帳データから１件ずつデータを読み出し、その中の、例えば名前や電話番号や電子メールアドレスを、キャラクタデータでないものはキャラクタデータに変換し、ＲＡＭ１３内に作成した予め決められた形式のテキストファイルに、例えば名前、電話番号、電子メールアドレスの順にそれぞれの区切りに「，」を挿入して、１件が１行になるように編集していく。電話帳内の全てのデータの編集が終了すると、ＣＰＵ１１は、例えば表示部１５の液晶ディスプレイに「テキストファイルに編集しました」というメッセージを出力する。

【００１５】このようにして編集されたテキストファイルは、操作部１６の機能キーの押下により電子メールの添付ファイルとして送信できるようになっている。具体的には、ＣＰＵ１１は、周知の送信電子メール作成処理

中に、操作部16からテキストファイル添付の機能ボタンが押下された通知を受けると、作成処理中の電子メールのデータに、周知の形式でRAM13内のテキストファイルを添付ファイルとして添付する。その後、周知の電子メール送信操作により、CPU11は、作成した電子メールデータを通信部から予め設定されたメールサーバーへ送信する。

【0016】また、この携帯電話端末は、受信した電子メールに添付されている添付ファイルの内容をRAM13内の電話帳データに取り込めるようになっている。具体的には、CPU11は、受信した電子メールに添付ファイルが添付されていると、表示部15の液晶ディスプレイに、図2に示すように、メール到着記号31とともに添付ファイル記号32を表示して、添付ファイルがあることを通知する。

【0017】CPU11は、添付ファイル記号32を表示中に、操作部16から添付ファイルからの電話帳データの取り込みの機能ボタンが押下された通知を受けると、添付ファイルの内容を読み出し、例えば上述したテキストファイルと同じ形式のファイルとして、1行の先頭から区切りの「，」までは名前、その次から次の「，」までは電話番号、その次から行の終わりまでは電子メールアドレスとして、1行を1件の電話帳データとして登録していく。全てのデータを電話帳に登録すると、CPU11は、例えば表示部15の液晶ディスプレイに「電話帳に登録しました」というメッセージを出力する。添付ファイルが上述したテキストファイルの形式でなければ、CPU11は、例えば表示部15の液晶ディスプレイに「ファイル形式が違います」というメッセージを出力して処理を終了する。

【0018】以上のように、本実施形態の携帯電話端末は、RAM13内の電話帳データをテキストファイルに編集しているので、電話帳データの編集が容易になる。また、このテキストファイルを電子メールの添付ファイルとして送信しているので、電話帳データのバックアップを容易に行うことができる。また、受信した電子メールの添付ファイルを電話帳データに取り込んでいるので、バックアップした電話帳の取り込みや、電話帳データを編集した電話帳の取り込みを容易に行うことができ

る。

【0019】なお、本実施形態においては、編集したテキストファイルを添付ファイルとして電子メールに添付したが、これに限定されるものではなく、電子メール内に直接挿入してもかまわない。

【0020】また、本実施形態においては、編集するテキストファイルは1つとしたが、これに限定されるものではなく、複数のテキストファイルを編集し、電子メールに添付時に一覧表示して選択させるようにしてもかまわない。

【0021】また、本実施形態においては、添付されているファイルは、編集したテキストファイルと同じ形式としたが、これに限定されるものではなく、携帯電話端末内のデータ形式として、そのデータをそのままRAM13に書き込むだけで電話帳データとなる形式でもかまわない。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように、本発明はメモリ内に蓄積している情報をテキストファイルに編集することにより、メモリ内の情報を容易にバックアップすることができるというすぐれた効果を有する携帯情報端末を提供することができるものである。

【図面の簡単な説明】

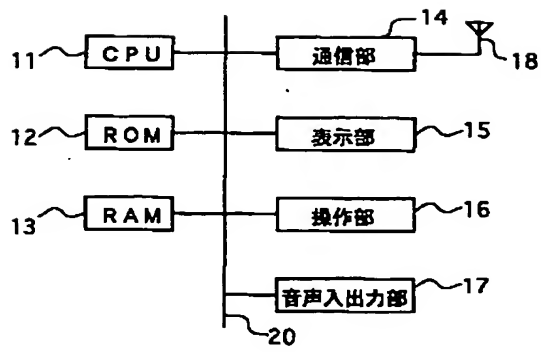
【図1】本発明に係る携帯情報端末としての携帯電話端末の一実施形態を示す概略ブロック図

【図2】その表示部の表示例を示す図

【符号の説明】

- 11 CPU
- 12 ROM
- 13 RAM
- 14 通信部
- 15 表示部
- 16 操作部
- 17 音声入出力部
- 18 アンテナ
- 20 バス
- 31 メール到着記号
- 32 添付ファイル記号

【図1】



【図2】

